

RISK ALERT



救命ボートとポートステートコントロール



Written by
Captain John Taylor
Loss Prevention

ポートステートコントロール(PSC)の検査では、検査員が救命ボート用ダビット、およびフリーフォール式の救命ボートの双方がしばしばチェックされます。メンテナンスの記録、操作上の安全性、ダビットとウインチ、オンロードリリースメカニズム(適切な救命ボートの着水)、救命ボートの訓練の実施等がチェックの対象となります。

以下の項目に限定されるわけではありませんが、具体的な検査項目の例としては次のような例が挙げられます:

- 救命ボートがSOLASの要件に従って着水し、操縦されていること。
- ダビットのウインチブレーキの動作テストが実施されていること。
- ダビット、フォール、シーブ、救命ボート、オンロードリリースメカニズムの定期的なメンテナンス。
- 救命ボートとフォールフックの接続が良好な状態にあること。
- 救命ボートの着水と回収に関連する危険性については船舶の安全管理システムで特定されており、これらの危険性に関する手順や指示が船内で徹底されていること。
- 救命ボートの着水と回収の操作について担当者が理解しているか。また乗組員が、関連するIMOの文書/ガイダンス、海上安全委員会(Maritime Safety Committee)発行のサーキュラーの内容を把握しているか。
- 救命ボートの状態、マーキング、セッティング、デザイン、乗組員の知識と理解について。また救命ボートの操作について適切な指示と警告通知を行っているか。(特にオンロードリリースメカニズム、インターロックに関して)
- ダビットとウインチの状態について。

- シーブ、リミットスイッチなど、全ての可動部品の操作について。
- 救命ボートがフリーフォールしている際の遠心ウインチブレーキの正しい操作と、着水時の手動載貨重量ブレーキの正しい操作について。
- 救命ボートの訓練が適切に行われているか。

検査の結果、欠陥が発見された場合のポートステートコントロールによる措置は様々ですが、例えば指定された時間内に欠陥を修正するよう船長に指示したり、欠陥が修正されるまで船舶を拘留したりすることがあります。

救命ボートに関連する当クラブの記事は以下リンクをご参照ください。

リスクアラート68: フリーフォール式救命ボートのホイストスリングワイヤーがプラスチックで被覆されている場合のリスクについて

https://www.steamshipmutual.com/Downloads/Japanese%20Translations/RA68_Freefall_life_boats_030920.pdf

記事: 救命ボートの着水について

<https://www.steamshipmutual.com/loss-prevention/lifeboat-launching-systems.html>

記事: 救命ボートの着水と回収に関するリスクについて

<https://www.steamshipmutual.com/publications/Articles/Lifeboats0407.html>

※本リスクアラートの英語原文は以下リンクをご参照ください。

<https://www.steamshipmutual.com/RA80LifeboatsandPortStateControlInspections.pdf>